

木のすまい新聞

「シリーズあれから1年」

加古川市S様邸には、今日も元氣な3兄弟の音が響いています。

「長男の小学校入学を機に、育ち盛りの兄弟3人を育てるためにマンションから一戸建てに引っ越したいと考えたのが家づくりのきっかけで、希望の立地と予算の兼ね合いでようやく見つけた土地は、幅7m、奥行33mのジグザグに曲がった変形地でした。ヤマヒロさんに相談した時も『この土地に家、建ちますか？』が第一声でした(笑)。『建ちます！』『それなら、この土地買います。お願いしますよ』『そんなやりとりで家づくりが始まりました』とご主人。

思いを形にするプランに際して「こんな家だったらいいな、と思うことを全部紙に書き出してお渡ししました」と奥様。中でも一番の希望は「子供たちが伸び伸び暮らせる家」。理由は「マンションで暮らしていたとき、子供たちが走り回ると『静かに！』って言っていましたから」だったそうです。そして2週間後のプランプレゼンテーション。この変形地にどんな家が建つんだろうと、期待と不安が入り混じっていたそうですが、「プランを見たとき、『そうっ、欲しかったのはこんな家！』それが第一印象でした。説明を聞くまでもな

木のすまい仕様の家 わんぱくデッキ

く、3人の息子が家の中を走り回っている姿が目の前に浮かびました」と満足そうに話されていました。

菜園から水廻り、キッチン、リビングをつなぐように設置したデッキは、住まいの中にくつもの回遊動線を生み出しています。

引っ越して約1年。休日は家の奥に設けた菜園で野菜を収穫。リビングの真ん中にドンと置かれたキッチンで家族みんなで料理づくりを楽しみ、リビング前の大きなデッキはわんぱく盛りの3人の子供たちの遊び場になっています。

これからも、この家とともに家族が成長していく姿を楽しみにされていました。

「設計・施工」

ひょうご木のすまい協議会 正会員

株式会社 山弘



春を告げる木のセンサー

毎年春になると木々が芽吹き、花を咲かせます。ではどのようにして木は春の訪れを知るのでしょうか？

恐らく誰もが気温の上昇だと想像は付くと思います。しかし、十二月頃の初冬期に休眠状態にある植物をいくら春と同じ条件にしても決して芽吹かないそうで、つまりは寒い冬の時期を経験しないと眠りから覚めないのだそうです。

多くの木は一月も半ばを過ぎると、気温が上がればいつでも芽吹ける状態になりますが、樹種により葉が開いたり、花が咲いたりする時期に違いがあり、例えばウメは花芽の最適成長温度は10℃前後であるのに対し、サクラは十六〜七℃と高いことが、二つの木の開花時期が違う理由であると言われます。

春を告げる花前線(地図上で開花期の同じ所を結んだ線)を見れば、暖かい南から寒い北へ、低地から山地へと進み、木の春の目覚めが温度に大きく支配されている証拠の一つでもあります。このことから自然界に生育している木のほとんどが、その自生する地域の気候に同調し適応しているのが分かります。

ひょうご木のすまい協議会

会長 三渡 圭介

木の家
ひょうご木のすまい協議会

Vol. 52
January
February
2016

— ひょうご木のすまい協議会からのお知らせ —

小冊子「キノコイェノコ ひょうご」

ひょうご木のすまいでは、冊子を発行しています。わたしたちがお手伝いさせていただきました、素敵なお客様のお住まいやライフワークを随時ご紹介。併せて、木の家の良さを各分野の専門家よりお話をうかがっております。

今号は『地域工務店スマートハウス』と題し、「最新トレンドスマートハウスを斬る」や「木の家でかしく暮らす」などを掲載。ひょうご木のすまい協議会メンバーの座談会も掲載しており、よりよくひょうご木のすまい協議会を理解していただける内容となっております。ぜひお手にとってご覧ください。

●小冊子「キノコイェノコ」
ご希望の方は事務局まで～
送り先を事務局までお知らせ下さい。

— 兵庫県庁林務課からのお知らせ —

兵庫県の木造住宅ローンのご案内

〔融資制度の概要〕

融資利率0.9%固定(平成28年3月31日融資実行分迄)

●新築・増改築

融資限度額:2,300万円(返済期間25年以内※)

※県産木材を60%以上使用し、長期優良住宅の場合は返済期間は35年以内に延長可能です。
なお、26年目以降の利率は1.9%になります。

●リフォーム

融資限度額:500万円(返済期間10年以内)

詳しくは下記のホームページをご覧ください。

URL http://web.pref.hyogo.lg.jp/af13/af13_000000017.html

兵庫県 木造住宅ローン